

ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



おばさんの笑顔

母の妹のM子さんは、私の欲しがっていたものをいつもお土産にして我が家に遊びに来てくれた大好きなおばさんだった。

M子さんは、結婚して十数年たったころから原因不明の難病にかかり、家事もできなくなり、お姑さんが家事全般をこなしていた。そのお姑さんもなくなり、夫もなくなった後、少し動けるようになってきたM子さんは、今後の高齢期の介護を考え、自宅も家具も一切を処分して有料老人ホームに入居した。

そのころの手紙には、「こんなところに入ってしまったけど、これからどうしよう」という不安にみちた気持ちが書き綴られていた。

しばらくして音信が途絶えたので、ホームに会いに行ってみると、不自由な足をひきずりながらも晴れやかな笑顔を浮かべるM子さんがいた。よもやま話をして帰ってきたら、しばらくして手紙が届いた。

実はM子さんは恋をしていた。

同じホームに入居する彼女より一廻り若い男性が「あなたは僕の理想の女性です」と告白してきたそうだ。そして彼女のために、病気の対応を考えたり、新鮮な野菜を食べさせようとしたり、彼女にとってもよくしてくれるという。「八十を超えて、こんな素晴らしい思いができるなんて考えたこともなかった…。今は、戸惑いと同時に幸せな気持ちでいっぱいです」と書かれてあった。

思わず「素敵！」と声を出して叫んでしまった。

M子さんの笑顔の謎がとけていき、心がはずんだひと時だった。

みんなが笑顔でいられるために……………

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた！



ファイルNo.22: ^{まつい}松井 ^{まさこ}正子さん 44歳

千葉県出身。夫、小3、小1の息子2人の4人家族。
吉川市在住。趣味は家族で「水族館めぐり」をすること。特に
イルカの大ファン。

介護は命を預かる仕事

入所されている方が100人ほどいる特別養護老人ホーム「吉川平成園」※で、介護ヘルパーとして働いています。入職して10年がたちました。身体が不自由な方や、認知症の方々の身体介護が主な仕事です。食事や着替え、入浴、排せつなどから、散歩やレクリエーションなど、一日の流れのなかでその方の身体の状態に合わせたお世話をしています。

風邪など感染症にかかりやすい高齢の方ばかりなので、病気を未然に防ぐにはちょっとした身体の変化に早めに気づくことが重要ですから、勤務中は気が抜けません。介護は命を預かる仕事です。その責任の重さを日々感じています。

それから身体の健康だけでなく、心のケアもとても大切です。ホームで24時間を過ごす入所の方々に、その日その時間を少しでも気持ちよく生活していただけるにはどうしたらいいか、どんな声かけをしたらいいか、いつも考えながら接しています。

子育てを優先して正職員からパートに

介護の仕事をする前は、幼稚園教諭として12年間勤務していました。もともと人と接する仕事をしたいという気持ちと、自分の祖父母を思ったように世話ができな

一番嬉しいのは、
入所の皆さんの笑顔にふれる時。
やりがいを感じます！

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな…。

介護ヘルパーとして働く松井正子さんの明るい声は、
周りの人たちをいつも元気づけているようです。

小学生2人のお母さんでもある松井さんに、イキイキ
「笑顔」のわけを語ってもらいました。

かった思いが重なり、転職する際に高齢者介護の仕事を選ぼうと思いました。

ヘルパー2級の資格を取って「吉川平成園」に正職員として就職。その後、結婚をして2人の息子を出産した後、同じ職場でパート職員になり働き方を変えました。子どもたちが小さいうちは、昼間の時間帯に働けて夜間勤務の無いパートにして子育てを優先することにしたのです。シフト制なので土日や年末年始の勤務もありますが、夫と協力しあって分担をしています。収入は減りましたが、仕事と生活のバランスを熟慮して選んだやり方だったので、今でもこの選択は正解だと思っています。



天気の良い日は、平成園付近の散歩コースに。

資格受験を支えてくれた家族

介護の仕事は奥が深く、現場経験を積んだ上で受験できる資格がいくつもあります。私も、自分を高めるには一日でも脳が若いうちにと、介護福祉士※の資格に挑戦しました。法律や医療など、初めて学ぶ専門分野もあって、久しぶりの勉強は思った以上に大変でした。それでも仕事をしながら、年一回の試験に向けて机に向かう日々を送り、二回目で合格。嬉しかったですね。受験の間は、そのまま寝てしまわないように、子どもを寝かすける役は夫が引き受けてくれました。「お母さん、頑張ってる」という子どもの励ましも力になって、私を支えてくれる家族の存在を強く感じた経験にもなりました。

子どもたちがもう少し大きくなって手がかからなくなったら、次はケアマネジャーの資格に挑戦したいと思っています。

少しでも多くの笑顔

入所の皆さんと接していて嬉しいのは、やはり、その方の笑顔が見られる時ですね。入浴をしぶっていた方が微笑みながら「松井さんが来てくれたから、入ろうか」と口にしてくれたりとか、そんなささやかなことが、心が通う瞬間に思えてとても嬉しくなります。お話しをしていて、知らないことを教えていただくことも多いんですよ。植物の名前や育て方をよくご存知の方がいて、尊敬してしまいます。

単調になりがちなホームの生活の中で、時には幼稚園時代の体験を生かしてピアノの伴奏をしながら皆さんと歌ったりすることもあります。音楽に合わせて身体が揺

れたり、手拍子をしたりといったことが自然に始まり、顔の表情がイキイキと和やかに変化してきて、やりがいを感じます。これからも、少しでも多くの笑顔とふれあえるように、自分なりの工夫を重ねていこうと思っています。



ベストパートナーの夫・利彦さんと

※介護福祉士は、ケアワーカーの国家資格であり、社会福祉士、精神保健福祉士と並ぶ福祉の国家資格。

※特別養護老人ホームは、介護保険制度で介護の必要がある「要介護」の判定が出た人が利用可能な、老人福祉法上の老人福祉施設。

男女共同参画講座 & サロン

男女共同参画講座等に参加し、男女共同参画について

地域に発信するリーダーになりませんか。

日時・内容 ①1月22日(火)午後1時～4時・

瀬山 紀子氏(埼玉県事業コーディネーター)講演、市民ク

ープたんぼぼ 99 寸劇とワークショップ(市職員も参加)

②1月29日(火)午後1時30分～3時30分・

「これから展開していきたい、地域の男女共同参画」を

テーマに、ほつと越谷の取組紹介と座談会

場所 市役所 204 会議室

対象・定員 市内在住または在勤者・15名(先着順)

お申込・問合せ 1月18日(金)までに、氏名・住所・連絡

先を直通または電話、ファクス、Eメールで。

吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

(住所・電話番号・ファクス番号・メールアドレスは、

4ページをご覧ください。)

DV防止地域サポーター養成講座

「生きづらい生活は誰のせい？」

気づこう気づかせよう みんなで…～DV防止～」

夫婦や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為をDV(ドメスティック・バイオレンス)と言います。

DV防止には、「DVは犯罪行為をも含む重大な人権侵害である」という啓発が重要であり、こうしたメッセージを地域に伝えて頂く、サポーターを募集します。

本講座は、市および「よしかわ子育てネットワーク」との共催による、サポーターのための養成講座です。ぜひ、ご参加ください。

日時・内容

① 2月19日(火) 午前10時～正午・

「被害者が語る、DVとは」中島幸子(NPO法人レジリエンス)講演

② 3月4日(月) 午前10時～正午・

「子どもの心のコーチング講座」菅原裕子(NPO法人ハートフルコミュニケーション)講演

場所 中央公民館 101・102 会議室

対象・定員 市内在住または在勤者・15名(先着順)

お申込・問合せ 1月31日(木)までに、氏名・住所・連絡先を直通または電話、ファクス、Eメールで。

吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1 ☎048(982)9685 FAX048(981)5682

✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

募集しています!!

- この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。
- この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。

いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

発行 笑がおの会・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5682 ✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

※題字については、楢垣民子さんのご協力をいただきました。